

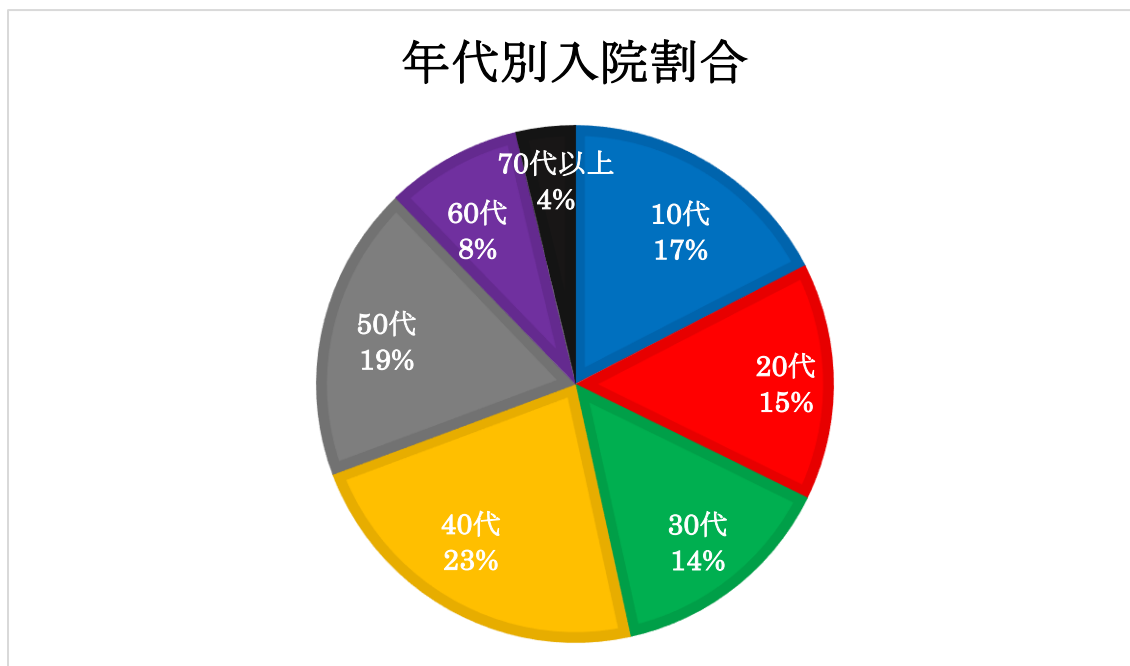
J-BADO 結果 (2016年10月～12月)

※依存症病棟、医療観察法病棟を除く全病棟の新規入院

2016年10月～12月新規入院数

	救急病棟	一般病棟	ストレスケア病棟	思春期病棟	全体
入院数	115	15	38	21	189

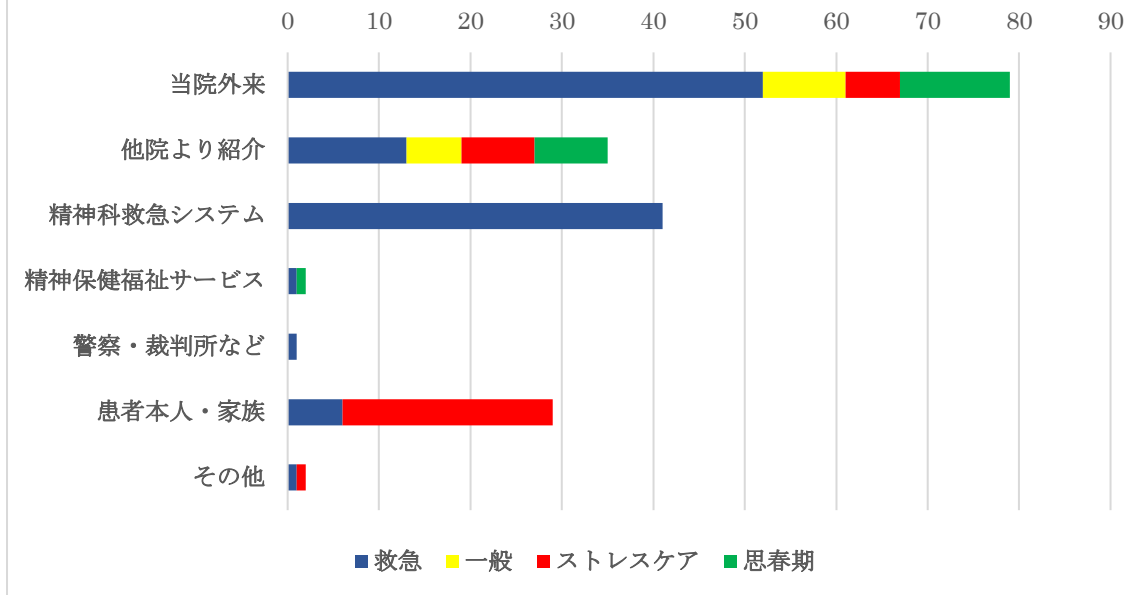
2016年10月～12月新規入院例



40代が最も多く、50代がそれに続く。

10代の入院は、ほとんどが思春期病棟である。

入院の経路

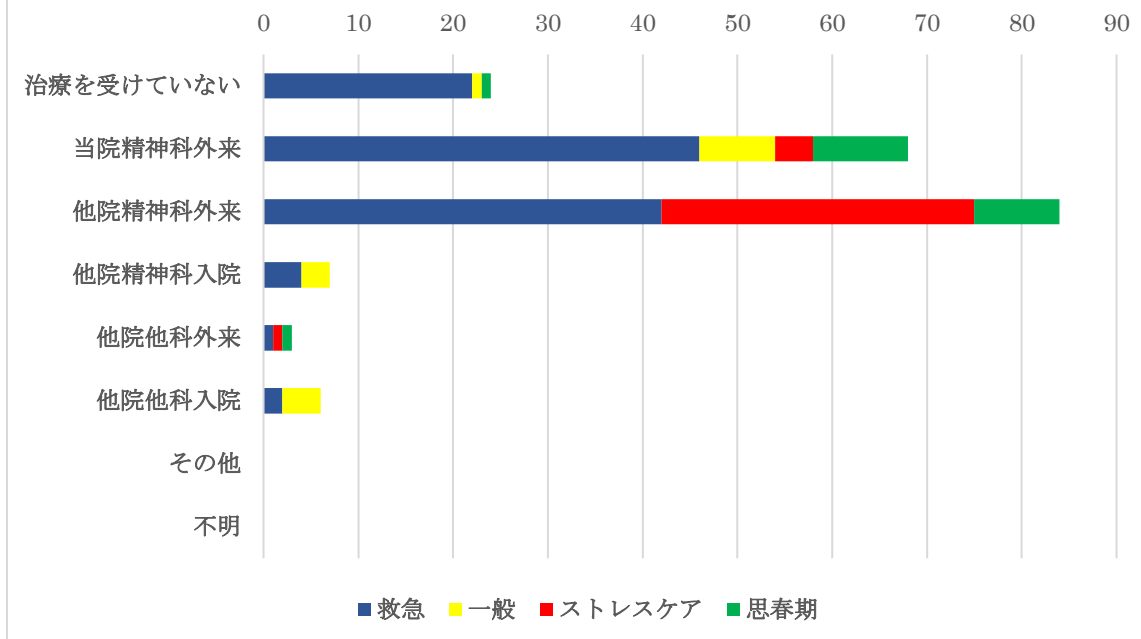


救急病棟では当院外来からの入院が最も多く、精神科救急システムがそれに続く。

一般病棟、思春期病棟では当院外来からの入院が最も多く、他院からの紹介がそれに続く。

ストレスケア病棟では、患者本人・家族からの依頼が最も多く、他院からの紹介がそれにつづく。

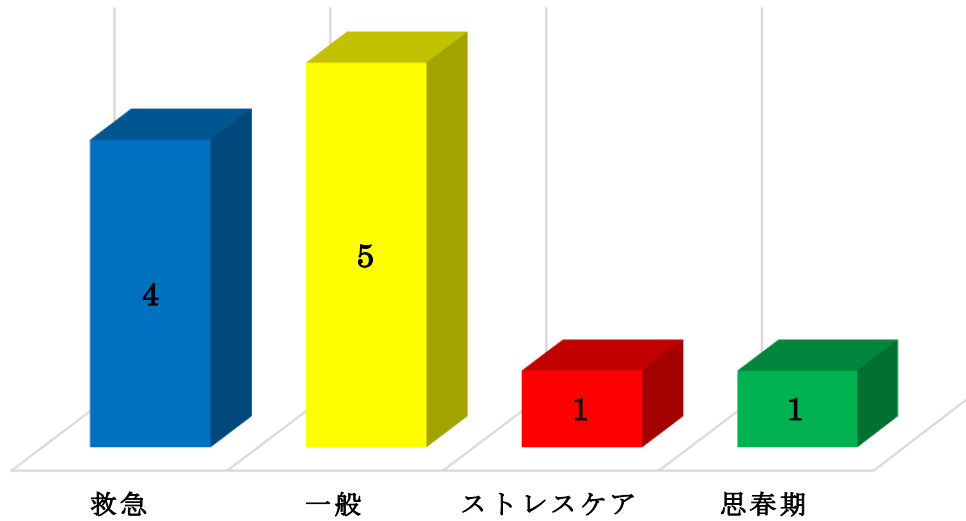
入院前の治療状況



全体では他院精神科外来が最も多い。

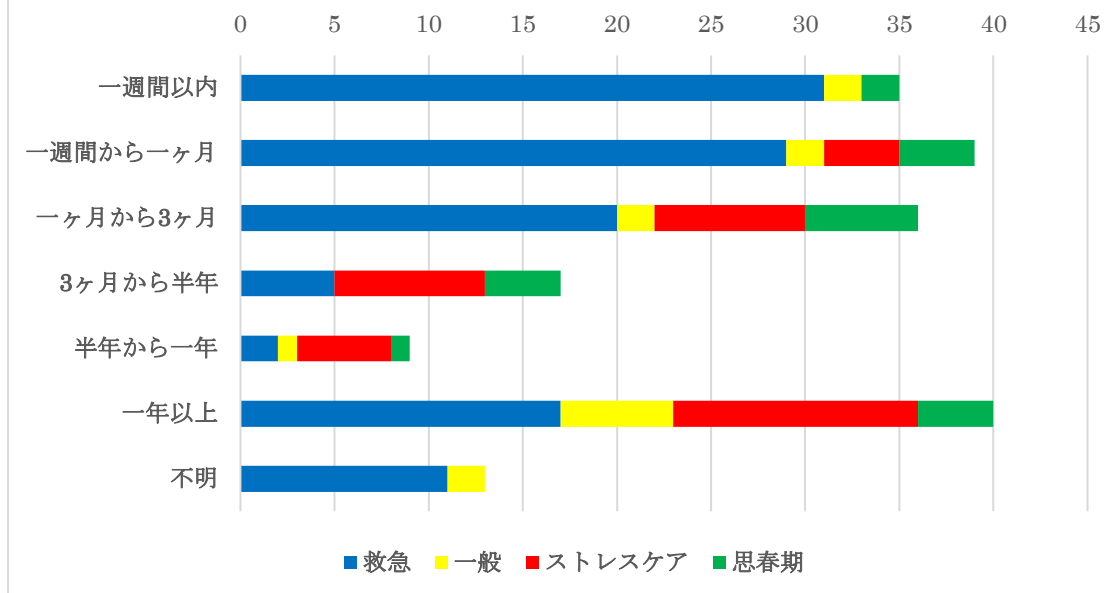
一般病棟では他院精神科や他院他科からの入院を受け入れている。

過去の精神科入院回数



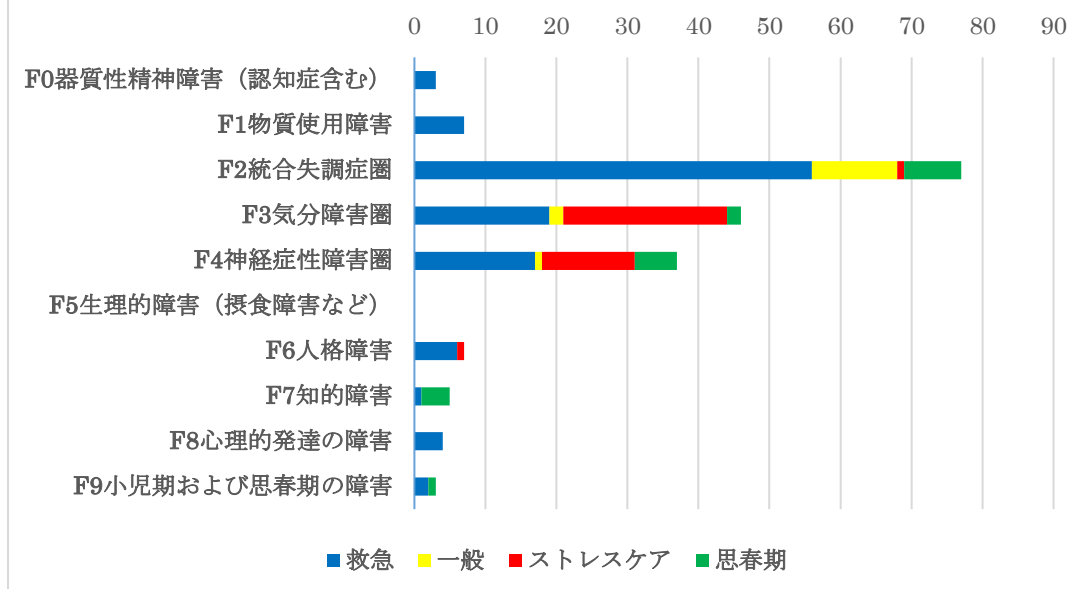
今回入院以前の精神科入院回数である。

エピソード発生から入院までの期間



エピソード発生から入院までの期間（発症または今回の病状悪化から、入院に至るまでの期間）は、救急病棟と思春期病棟では多くが3ヶ月以内に入院している。一般病棟、ストレスケア病棟では1年以上の入院が最も多い。

入院時主診断



ICDに基づく入院時主診断である。

救急病棟、一般病棟、思春期病棟では統合失調症圏が最も多く、ストレスケア病棟では気分障害圏が最も多い。